

現場説明書

令和7年3月 日向東臼杵広域連合作成

●工事名

令和7年度排ガス処理設備 1・2号集じん機ろ布および活性炭供給装置更新工事

●対象工事内容

- ① ろ布全数更新(375本×2炉分)
- ② ろ布ケーシング更新(375本)
- ③ 活性炭定量供給装置更新 1式
- ④ 活性炭用スライドゲート更新 1式
- ⑤ フレキシブルジョイント更新 1式
- ⑥ 活性炭吹込ブロワ更新 各1式
- ⑦ その他ろ布更新に必要なもの

●施工条件

- ① ろ布撤去後、バグフィルタケーシング腐食の調査を行うこと。そのための費用(足場、調査労務費等)を本工事に含む。
- ② バグフィルタケーシング補修の当て板溶接、およびその他運転に支障を生じるような不具合があるものの補修費用は別途変更設計等で対応する。
- ③ 施工方法は任意であるが、ろ布更新の期間が当清掃センターの運転に影響があることから、ろ布全数撤去から、バグフィルタケーシング調査、ケーシング補修、ろ布復旧までを連続する工程としての施工を考えている。(その期間は一方の炉の運転を行う)。
- ④ 本連合の活性炭供給装置は、10年以上使用していないことから、ろ布更新に先行して工事を行い、活性炭が供給できることを確認するための試運転を行うこと。試運転に必要な活性炭については、本工事に含む。
- ⑤ 上記③の工程期間(2炉分)、活性炭定量供給装置等の製作品の期間を把握し、当清掃センターの運転計画に反映させる必要があるため、工事全体の見込工程表を作成すること。
- ⑥ ろ布の種類については、既存のものである触媒ろ布のベースであるティファイヤーまたは同等品で施工を行うこと(本工事のろ布仕様は触媒ろ布ではない)。なお、予定価格は PTFE + PTFE ウェブ2層構造品にて算出している。ウェブ2層の表層側は捕集性を高くし、密度勾配を持たせること。

・ろ布仕様

設計処理ガス量 36,000Nm³/h
処理ガス温度 200℃
設計耐圧 -5,000Pa
圧力損失 1,470Pa以下
ろ過速度 0.96m/min
ろ過面積 1,072m²
国内製品とする

- ⑦ ケージについては、既設を再利用することを原則とするが、再利用できないものも考えられることから、1炉分375本の作成を想定している。
- ⑧ 活性炭エアレーション装置、輸送装置の電動ボール弁については、当連合で動作確認を行っている。
- ⑨ 工事完了後の排ガス測定の費用は当連合負担とする。(バグフィルター入口・出口測定を炉ごとに1回ずつのみ連合負担、2回目以降は受注者負担)
- ⑩ ばい煙濃度及び排出ガス中のダイオキシン類の濃度については、下記の値以下となるまで、プレコーティング、活性炭・消石灰の吹込み量の調整及び排ガス測定を行うこと。

・ばい煙濃度

ばいじん 0.01g/Nm³ 硫黄酸化物 2.1Nm³/H
窒素酸化物 200ppm 塩化水素 325mg/Nm³

・排出ガス中のダイオキシン類の濃度

0.5ng-TEQ/ Nm³